

## 羽咋市市制施行60周年 記念式典

7月1日、コスモアイル羽咋において、羽咋市市制施行60周年記念式典が開催され、藤岡市から新井雅博市長と反町清市議会議長が出席しました。

新井雅博市長は「藤岡市と羽咋市が姉妹都市締結して32年目を迎えます。藤岡市民に羽咋市の魅力を発信し、さまざまな分野で今後も羽咋市との交流を盛り上げていきたい」と祝辞を述べました。

式典では、山辺芳宣羽咋市長の式辞のほか、功労者表彰、羽咋市ジュニアスポーツ団体代表者による「市民憲章唱和」、はくい吹奏楽団によるアトラクションなどが行われました。



## 千里浜ちびっこ駅伝大会



6月17日、千里浜なぎさドライブウェイで「千里浜ちびっこ駅伝大会」が開催されました。今年で30回を迎えるこの駅伝は、小学生が6区間(往復10.3km)を6人1チームでタスキをつなぎます。藤岡市からは2チーム参加し、晴天の下、参加者は潮風を浴びながら千里浜海岸を力走しました。

## 羽咋市文化協会と交流



7月5日、羽咋市文化協会関係者17人が本市を訪れ、市文化協会との交流会が行われました。中條俊夫羽咋市文化協会長から「藤岡市を訪問でき非常にうれしい。今後も実のある交流を続けていきたい」とあいさつされました。会場では藤岡茶道会からお茶が振る舞われ、和やかな雰囲気交流会となりました。

# 姉妹都市石川県羽咋市との交流 今年で市制施行60周年を迎えました



千里浜なぎさドライブウェイ

藤岡市と羽咋市

藤岡市と羽咋市は、両市に「日本三辻」に数えられる相撲辻があることなどが縁となり昭和61年3月に姉妹都市提携を結びました。以後、両市のお祭りへの参加をはじめ、行政・経済・教育・文化・スポーツなどさまざまな面で幅広く交流を続けています。また平成28年度は姉妹都市提携から30年を迎え、互いの市の木であるモクセイ(藤岡市)とクロマツ(羽咋市)を贈り合いました。いただいたクロマツは、高山社情報館の敷地内に植樹してあります。

羽咋市の魅力

能登半島の入口に位置する羽咋市は海と山に囲まれた町です。歴史が深く、多くの寺社や年中行事がその伝統を感じさせます。  
また、海の幸や山の幸、お米にジビエといった自然の恵みも豊かです。近年では、農薬や化学肥料を使わない自然栽培の普及を推進しています。

羽咋市のお薦め!



コスモアイル羽咋

数多くのUFO伝説を持つ羽咋の宇宙科学博物館。貴重な宇宙開発機材が各種展示されている。中には、NASAから借りている物も。



道の駅のと千里浜

平成29年7月オープン。直売所だけでなく、地元食材を使用したレストランや観光情報、足湯も備えています。羽咋市の魅力をギュッと濃縮した道の駅です。



千里浜なぎさドライブウェイ

8kmにおよぶ日本唯一の車で走れる砂浜。海水浴も楽しめる。きらめく白波を横目に潮風を受けながら走れば気分爽快間違いなし!

## 羽咋市ってどんなところ?

### DATA

人口: 約2万2,000人  
位置: 羽咋市は本州の中央部にあり、日本海に突出する能登半島の基部西部  
名産: 岩ガキ・いかだんご・羽咋米・神子原米・スイカ など

### ACCESS

車で: 関越・北陸自動車道・のと里山海道にて...約5時間  
電車で: 北陸新幹線や特急列車を利用...約3時間半



妙成寺

国重要文化財10棟を有する。建築様式や随所にあしらわれた高度な彫刻は見応えがあり、特に五重塔は多彩な彫刻が施され、北陸随一の圧巻と称される。



羽咋米

肥料・農薬を一切使わない自然栽培の「羽咋米」。雑味のない、程よいモチモチ感のある米本来の味と香りを楽しめるお米がお薦め。道の駅でも購入できます。

羽咋市

